

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社アンジェルム
施設名	こもれび保育園
報告者（役職）	石橋美子（主任保育士）
住所・連絡先	福岡県春日市惣利 1-83-1 ☎ 092-595-6522 E-mail mail@komorebihoikuen.com

○タイトル（保育計画）

身体を使ったり、楽器を使ったりする遊びの中から、五感を養う

○主な助成備品

椅子、フープ、楽器、マット、
カート

1. 保育計画策定の目的

当園は、平成 30 年 4 月に開園した病児保育を併設する少人数保育園です。0.1.2 歳児を中心に定員 19 名で園生活を送っています。園庭には固定遊具もありますが、新園ということもあり備品が少なく室内遊びが充実していませんでした。そこで今回、助成金をいただくことで保育者と子どもたちとのコミュニケーションを増やす、五感を育てる音楽活動や身体活動の質の向上を図ることを目的とした計画を立てることができるようになりました。

2. 具体的な実施内容

①木製乳児用椅子

< 0 歳児 >

対面で食事をサポートしたり、知育玩具遊びや絵本を読む際に机として使用したりする。机を上げて、椅子として使用することもできるので、食事以外にも朝の会や帰りの会のときにも活用している。



②フープ

< 0 歳児 >

輪くぐり遊び（輪の中にマットを入れてトンネルごっこ）や転がして保育者とのコミュニケーションを楽しむことができた。

< 1 歳児、2 歳児 >

電車ごっこ、輪くぐり、輪の中にマットを入れてトンネルごっこ、床に置いて片足跳びなど多種多様な遊びに発展させることができた。



③楽器（タンブリン、すず）

< 0 歳児 >

保育者の歌を聞きながら好きなように音を鳴らし、リズム遊びを楽しむことができた。

< 1 歳児、2 歳児 >

それぞれの楽器の使い方を説明し、正しい使い方を身につけることができた。

保育者のピアノの音に合わせて楽器を叩き、「大きなたいこ」の歌遊びに合わせて大きな音、小さな音を表現した。

「手をたたきましょう」「おもちゃのチャチャチャ」などの曲に合わせ、好きなように音を鳴らし、歌ったり踊ったりしながらリズム遊びを楽しむことができた。



④マット

< 0 歳児 >

折りたたんだマットの上にもう一枚のマットを敷き、山を登ったり滑ったりして遊んだ。

< 1 歳児、2 歳児 >

折りたたんだマットの上にもう一枚のマットを敷き、山を登ったり、滑ったりして遊んだ。マットを三つ折りにし、保育者が手を握りながら山から跳んで遊んだ。



⑤カート

< 0 歳児 >

つかまり立ちの子も幼児用椅子に座らせたまま乗せることができ、安全に移動ができる。災害時の避難や、日頃からの避難訓練でも使うことができる。

< 1 歳児、2 歳児 >

公園に行く際に大人数での移動ができる。保育者の目がよく行き届き、安全面も守られる。災害時の避難や、日頃からの避難訓練でも使うことができる。



3. その成果と評価

①木製乳児用椅子

2 パターンの使い方ができることで、食事の介助の際だけでなく、テーブルを出せるので落下の心配が少なく、乳児の安全が守られるようになった。

②フープ

様々なごっこ遊びに応用することができるので、室内遊びの質が向上した。想像力を豊かに育むことができる。

③楽器（タンブリン、すず）

音の出し方を自分で工夫したり、リズムに合わせて叩いたりして、楽器が持つ特性を十分に理解することができた。楽器を導入したことでさらに音楽表現に興味・関心が広がり、楽しんで参加することができるようになった。

④マット

マットを導入することで動きが活発になり、体幹を鍛える・バランス感覚を養うなどの観点で身体活動の充実が感じられた。転がって遊ぶ際にも、床で転がるよりもマットがあるぶん厚みが増したので、安全も十分守られるようになった。

⑤カート

避難訓練の際には保育者が子どもを抱っこ紐や手つなぎで避難場所まで移動していたが、カートが導入されたことで大人数での移動が可能になった。また、散歩に行く際にも、道路に面した歩道を通ることが多いので、手つなぎがまだ難しい子の安全を守ることができるようになった。大人数での移動ができるようになったことで移動時間の短縮にもなり、活動時間が以前よりとれるようになった。

4. 今後の課題と展望

今回助成金をいただき遊具などを導入したことで、子どもたち同士の協調性を豊かにするきっかけが生まれたこと、また、遊びの広がりが見られるようになったこと、身体や精神の発達においてどれも良い影響が見られるようになりました。

今後も五領域に沿った充実した保育ができるよう、職員一同努めてまいりたいと思います。

以上